

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2019.3.1 ~ 3.31)

□刊行物

五十嵐仁・木下真志／法政大学大原社会問題研究所編著『日本社会党・総評の軌跡と内実——20人のオール・ヒストリー』旬報社

『法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ・ニューズレター』第4号(2019年3月)

『堺利彦・近藤真柄・近藤憲二関係資料目録』(ワーキングペーパー No. 56)

『大原社会問題研究所雑誌』726号(2019年4月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	42	0	42
受 贈	0	0	0
合 計	42	0	42

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 19日

閲覧者数 22名

貸出図書 24冊

コピーサービス

学外 15件 4,257枚

学内 2件 35枚

日 誌

5日 事務会議

『日本労働年鑑』編集会議

第6回公害資料館連携フォーラム in 東京第3回実行委員会(出席:清水)

6日 所員会議

11日 HOSEIミュージアム開設準備委員会(榎)

12日 大原社会政策研究会(第56回)

御澤晴人(法政大学大学院人間社会研究科博士後期課程)「国民年金事業史——1961年から1973年までの地域差に着目した考察」

13日 富岡製糸場女性運動環境等研究委員会(出張:榎)

20日 大原社会問題研究所創立100周年・法政大学合併70周年記念シンポジウム開催のため閉館

運営委員会(於:市ヶ谷キャンパス外濠校舎4階S404教室)

議題①「2018年度中期目標・年度目標達成状況報告書」の承認

②研究員総会の司会の選任

③その他

研究員総会(於:市ヶ谷キャンパス外濠校舎4階S406教室)

大原社会問題研究所創立100周年・法政大学合併70周年記念シンポジウム「社会問題の現在」(於:市ヶ谷キャンパス外濠校舎4階S405教室,参加者:233名)

<第一部 記念講演>

二村一夫(法政大学名誉教授)「大原社会問題研究所の100年」

<第二部 社会問題の現在:研究と運動をどのように切り結ぶのか>

上西充子(法政大学キャリアデザイン学部教授)「労働問題の視点から」

西城戸誠(法政大学人間環境学部教授)「環境問題の視点から」

布川日佐史(法政大学現代福祉学部教授)「貧困問題の視点から」

記念レセプション(於:市ヶ谷キャンパス外濠校舎6階薩埵ホール,参加者:130名)

22日 子どもの労働と貧困研究プロジェクト/女性労働研究史研究会合同公開研究会「女性の貧困をいかに捉えるか——「世帯の中に隠れた貧困」を可視化するために」(於:市ヶ谷キャンパスボアソナード・タワー)

報告者:丸山里美(立命館大学),吉中季子(神奈川県立保健福祉大学),鳥山まどか(北海道大学),田中智子(佛教大学)

コメンテーター:岩田正美(日本女子大学名誉教授),藤原千沙(法政大学大原社会問題研究所)

27日 『日本労働年鑑』編集会議

大原社会問題研究所雑誌

No.729 (2019年7月号)

2019年7月1日発行

定価1,000円(本体926円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042(783)2305

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介」「調査報告」を募集しております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2018.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3 部、②1,000 字程度の要旨 3 部、③表題紙 3 部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

- 榎一江 (2017) 「近代日本のバスターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705 号, 29-43 頁。
- 原伸子 (2015) 「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。
- Suzuki, Akira (2016) “Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.